

新年あけましておめでとうございます。昨年保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、新年を迎えて、自分の夢や目標に向かって頑張ろうと決意している人もたくさんいると思いますが、2020年は、オリンピック・パラリンピックが開催される年です。出場する選手はもちろん、監督やトレーナー、栄養士など様々なサポートスタッフが、ワンチームとなって、金メダルや自分の夢・目標を目指して必死に闘います。この闘いは、自分たちの限界に挑戦することでもあります。ぜひ皆さんには、そんな素晴らしい姿とその陰で頑張るひたむきな努力とチャレンジ精神を感じてもらいたいと思います。皆さんにとって、自分の限界に挑戦することで大きな成長を遂げる1年間であることを祈念しています。

## バスケット部が、新人区内大会で全力を尽くしました！

昨年の12月7日、本校の体育館でバスケットの新人区内大会が開催され、男女ともに全力で1回戦に挑みました。男女共1回戦で惜敗しましたが、一所懸命にプレーする姿は立派でした。

男子は、八幡西区の第3シードである則松中との対戦でしたので、厳しい戦いとなりました。第1クォーターは13-19の6点差で、一進一退の攻防を繰り返していました。第2クォーターも何とか粘って得点を重ね、前半は25-35の10点差で、接戦に持ち込み緊張感のある試合でした。しかし、時間が経過するにつれてシュートミスやパスミスが多くなり、徐々に点差がひらいてきました。しかし、第4クォーターで20点差で負けていても、本校の選手たちが必死にプレーしていた姿には、感動しました。誰一人として最後まで諦めない態度は、これからの成長に生かされると信じています。

試合直後に、撮影！これからの奮闘を誓って、強い気持ちで!!



本校女子（白色）が、必死にディフェンスしている様子！集中力が素晴らしい！

左から、男子(黒色)末廣・甲斐・勝木君、 女子(白色)柳井・路地・小西さんの見事なシュート



女子は、新チームになってからの練習試合やシード決めの試合などで対戦し、ほぼ互角の実力の浅川中との対戦でした。相手のスリーポイントシュートが何度も決まり、一時は12点差で負けていた本校が、前半終了時26-31の5点差で、いつでも逆転できるスコアで折り返しました。それから一進一退の攻防を繰り返し、第3クォーターで30-40の10点差となって第4クォーターに突入しました。バスケットの試合において、10点差はいつでも逆転できる点数です。それだけに、第4クォーターは両チームとも必死にプレーを続けました。最後は40-48のスコアで惜敗しましたが、そのひたむきなプレーは、見ている我々に感動を与えてくれました。選手たちは、この悔しさをエネルギーに変えて、顧問の先生方と共に課題を克服して次の勝利をつかみ取って欲しいと思います。

## 体操部、新人の市内大会、県大会で活躍しました！

先月号で掲載すべきでしたが、昨年の10月19日に九州国際大学附属高校体育館で行われた市内大会と11月10日に福岡大学第二記念会堂で行われた県大会の結果をお知らせいたします。

市内大会では、2年男子の「清水麦珀」君が個人総合の部で、準優勝しました。種目別ではあん馬と跳馬で両方とも優勝、ゆかで準優勝、鉄棒で第3位でした。2年男子の「柴田彪雅」君は個人総合の部で第3位でした。種目別ではゆかで優勝、鉄棒で準優勝、あん馬と跳馬で第3位でした。また、1年女子の「花田紗弥香」さんは個人総合の部で準優勝、種目別でも跳馬・平均台・ゆか・段違い平行棒が4種目全て準優勝でした。

県大会では、「柴田彪雅」君が種目別のゆかで第3位となりました。「花田紗弥香」さんは個人総合の部で第3位、種目別の平均台で準優勝、跳馬・ゆか・段違い平行棒で3種目全て第3位でした。

体操部は、本校では練習できませんが、日頃クラブで練習しています。本大会の結果から日々の練習で如何に集中して頑張っているかがわかります。精一杯努力している3名に大きな拍手を送ります。

## 地域のもちつき大会で、本校の生徒たちが大活躍しました！

12月7日（土）に上津役市民センターと大原市民センターで、地域主催のもちつき大会が開催されました。上津役市民センターではテニス部とボランティア部が、大原市民センターでは生徒会執行部とダンス部が参加しました。12月15（日）には馬場市民センターで、もちつき大会が行われ、サッカー部と野球部

が参加しました。両日とも、本校の生徒会や部活動の生徒たちが張り切ってもちつきの手伝いをしてくれました。地域の方があらかじめ研いでおいた餅米を蒸して、熱々の状態でもちつきを始めます。きねでもち米をつぶすように捏ねていきます。ある程度米粒がつぶれ粘りが出てきたら、掛け声をかけてもちつきを行います。地域の方々からもちの捏ね方からもちのつき方まで教えてもらって、もちが出来上がります。最初はぎこちないもちつきの格好も、段々慣れてくるともちのつき方と掛け声が格好良くなってきて、楽しそうに

もちつきをするようになります。つき上がったもちを契り、食べやすい一口サイズに丸める作業も生徒たちの仕事です。そのやり方も地域のお母さん方から教えていただきます。熱いもちを大根おろしと酢醤油で酢もちにしたり、あんこもちにしたり、黄な粉もちにしたりします。ぜんざいにもちを入れることもありました。生徒たちは、出来立てのもちを頬張りながら満面の笑みを浮かべ、おいしそうに食べていました。

地域の方々からは、「若い人が来てくれて助かる」「若い人のエネルギーが貰えてうれしい」などと言って頂きました。生徒たちからは、「毎週このもちつきがあつたらいいのに」「楽しい。おいしい。面白い。」などの声を聞きました。地域の方の優しさや温かさが中学生に伝わり、素晴らしい交流の場に



なりました。生徒たちにとっては、この地域行事に参加することで、人間的な幅が広がり成長できるありがたい地域行事だと思います。地域の皆様、本当にありがとうございました。

## サッカー部が、福岡県中学校北部ブロック大会で、精一杯頑張りました！

この大会は、福岡県で新人九州大会の出場校1校を決める大会です。12月21日にトーナメント1回戦が行われました。八幡西区の強豪木屋瀬中と対戦しましたが、0対8で敗れました。前半は0対3、後半は0対5です。上津役中は1年生が6人試合に出るチームで、小学校でサッカーの経験のない生徒が多いので、まだ弱小チームですが、本当によく頑張ります。何点取られても一所懸命にボールを追いかけます。近藤先生と村田先生の指導を素直に聞いて、しっかりディフェンスします。通常は4点以上点差がひらくと諦めてしまって必死にプレーしなくなるのですが、60分間ずっと走り回って頑張っていました。時々フェイントやパスなど光るプレーも見えて、徐々に上手くなっていると感じました。直向きに頑張るサッカー部の姿勢に感激しました。今後に期待しています。

主将：「大前」君の低い姿勢での素晴らしいボールキープ



## バレー部が、市内大会に挑みました。

12月21日と22日に、北九州市立総合体育館で、北九州市中体連新人バレーボール大会が開催されました。21日は、男女共に3チームの予選リーグで2試合行い、1勝1

予選リーグ2試合目：対板櫃中

本校6名全員（手前）が、相手のアタックに対してブロック、レシーブに集中している様子。ワンチームになって団結している。



敗で2位となりました。市内大会ですので、どのチームも強豪ばかりです。その中で、決勝トーナメント（ベスト8）に進出できたことは素晴らしいことです。よく頑張りました。

男子は22日、決勝トーナメント1回戦で中央中と対戦しました。何度も練習試合をして負けていない相手だけに勝ちたいという思いはとても強かったのですが、1セット目20-25、2セット目17-25で惜敗しました。生徒たちは、最後まで一所懸命に諦めずに頑張っていました。特に、最後にレシーブしたボールをはじいて隣のコートまで飛んで行った時に、それを拾ってコートに戻そうと全員が必死になっている姿には、感動しました。そして、この敗戦の悔しさをバネに頑張ろうと考え、その日の午後に本校体育館で自分たちで練習を志願し、努力しました。日頃の練習試合では、本大会の3位で県大会に出場する若松中との練習試合でも負けたことのない上津役中ですので、これからの努力次第で十分県大会は狙えると思います。これからの努力に期待します。

山野君(1番)の腰の低いレシーブ



平嶋君の  
ナイスサーブ



女子は22日、決勝トーナメント1回戦で中原中と対戦しました。今までの練習試合では全く歯が立たない相手です。しかし、一進一退の攻防を続けながら徐々にペースをつかみ1セット目は25-19、2セット目は25-23で接戦を制しました。2回戦は区内大会でも決勝で勝利している木屋瀬中でしたので、25-9、25-19で2セット連取し勝利しました。準決勝では、優勝候補の飛幡中と対戦しましたが、神掛かったようなレシーブやブロックが飛び出し、25-20、25-17の2セット連取で勝利しました。

飛幡中に勝って決勝に勝ち進んだ時の最高の笑顔と、これから決勝に臨む魂のこもったガッツポーズ



決勝戦は、前日の予選リーグで対戦し、敗退している湯川中でしたが、勢いのある上津役中は1セット目からエンジン全開で素晴らしいプレーをしましたが、接戦の末24-26でセットを落としました。実力では劣ってはいないと感じさせてくれたのは2セット目で、飛幡中との対戦の時と同じようにレシーブやサービスエースが飛び出し、25-20でセットを取りました。セットカウント1-1となり、3セット目も気迫のこもるプレーをしましたが、最後は力尽き19-25で惜敗しました。試合を見て、古賀先生と選手の強い信頼関係を感じました。そして、日頃の地道な練習があつてこそそのチーム力ですが、何よりも選手たちの素直さと明るさ、そして勝ちたいという強い思いに感動しました。1月25・26日に、的場池体育館で行われる県大会での健闘を期待しています。



左から小野・原田さんのサービスエース炸裂!